

## 特別シンポジウム これまでのテーマ一覧

**第1回 食品のリスク評価に関する最近の動向** (各 40 分) 平成 12 年 11 月 17 日  
東京大学弥生講堂 参加者 148 名

1. 遺伝子組換え食品 豊田 正武
  - 1.1 遺伝子組換え食品をめぐる最近の動向について (厚生省 今村知明)
  - 1.2 遺伝子組換え食品の検知について (国立医薬品食品衛生研究所 合田幸広)
  - 1.3 遺伝子組換え食品の安全性試験 (国立医薬品食品衛生研究所 手島玲子)
2. ダイオキシンと内分泌かく乱化学物質 西島 基弘
  - 2.1 内分泌かく乱化学物質に対する厚生省の取り組み (厚生省 中島宣雅)
  - 2.2 TDI (耐容一日摂取量) と暴露評価 (大阪府公衆衛生研究所 堀 伸二郎)
3. 細菌性食中毒対策 松本 昌雄
  - 3.1 我が国における HACCP 導入の現状と行政の役割 (厚生省 高谷 幸)
  - 3.2 微生物学的リスクアセスメントへのアプローチ (東京大学 熊谷 進)

**第2回 食の安全性を取りまく諸問題に関する最近の知見と動向** (各 35 分)

平成 14 年 2 月 1 3 日

東京大学弥生講堂 参加者 284 名

- 1 食中毒と狂牛病 熊谷 進
  - 1.1 最近の集団食中毒事例にみる食品衛生管理の問題点 (岩手大学 品川 邦汎)
  - 1.2 牛海綿状脳症 (狂牛病) と変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 (東京大学 小野寺 節)
  - 1.3 食中毒と BSE における食品保健行政の対応 (厚生労働省 高谷 幸)
- 2 遺伝子組換え食品 川村 和彦
  - 2.1 遺伝子組換え食品の現状 (厚生労働省 三木 朗)
  - 2.2 遺伝子組換え食品の検知について (国立医薬品食品衛生研究所 穂山 浩)
- 3 食物アレルギーに関する表示と検出 豊田 正武
  - 3.1 食物アレルギー表示に関する情報と将来の動向 (厚生労働省 今村知明)
  - 3.2 人血清による食物アレルギーの検出について (国立小児病院 田中 和子)
  - 3.3 ELISA による特定原材料の検出について (1) 日本ハム 高畑 能久  
ELISA による特定原材料の検出について (2) 森永生科学研究所 豆超 慎一)
  - 3.4 PCR 法による特定原材料の検出について ファスマック 布藤 聡)

**第3回 食品・食品添加物の安全性評価** (各 45 分) 平成 15 年 1 月 22 日

東京大学弥生講堂 参加者 193 名

- 1 食品添加物の規格基準 棚元 憲一 米谷 民雄
  - 1.1 次亜塩素酸水の利用 (強電解水企業協議会 川田 勝大)
  - 1.2 着香料の安全性評価の新しい考え方 (日本香料工業会 川村 洋)
  - 1.3 食品添加物新規申請の新しい考え方 (厚生労働省 吉田 易範)

- 2 食品添加物の安全性評価 西島 基弘
  - 2.1 JECFA と CODE X における安全性評価 (実験動物中央研究所 林 裕造)
  - 2.2 JECFA における食品添加物規格 (国立医薬品食品衛生研究所 河村 葉子)
- 3 食品衛生の新しい組織 (内閣官房 坂本 純)

**第4回 食の安全と安心に対する取り組み** (各35分) 平成16年1月23日  
東京大学弥生講堂 参加者237名

- 1 食中毒発生とその取り組み 品川 邦汎
  - 1.1 ノロウイルス食中毒の発生と対応 (国立感染症研究所 西尾 治)
  - 1.2 最近の食中毒対策の動向について (厚生労働省 南 俊作)
- 2 食の安全・安心に向き合う企業の取り組み 中澤 裕之
  - 2.1 信頼回復に向けた品質保証体制の構築 (雪印乳業 小西寛昭)
  - 2.2 お客様の声からみる安全・安心 (サントリー(株) 近藤康子)
- 3 食品の安全確保への取り組み 藤井 建夫
  - 3.1 食品安全委員会とリスクアナリシス (内閣府 一色賢司)
  - 3.2 リスク管理におけるトレーサビリティ (農林水産技術センター 池戸重信)
- 4 食品の新しい規格への取り組み 米谷 民雄
  - 4.1 水銀・カドミウムの食品衛生の取扱い (厚生労働省 太田 裕之)
  - 4.2 農薬・動物用医薬品等のポジティブリスト制 (厚生労働省 宮川 昭二)

**第5回 食品安全のためのリスク分析の現状** 平成17年2月10日  
東京大学弥生講堂 参加者241名

- 1. 薬剤耐性菌の食品健康影響評価の考え方 東京大学 唐木 英明
- 2. 遺伝子組換え食品の安全性評価の考え方 国立医薬品食品衛生研究所 早川 堯夫
- 3. 特定保健用食品の現状と課題 (独)国立健康・栄養研究所 斎藤 衛郎
- 4. 食品の安全性を確保するための東京都の取り組み 東京都福祉保健局 小川 誠一
- 5. リスクコミュニケーションの現状と風評被害等の問題について  
雪印乳業株式会社 日和佐 信子

**第6回 農場から食卓まで一食の安全性確保** 平成18年2月3日  
東京大学弥生講堂 参加者198名

- 1. フードチェーン・アプローチを大切に  
内閣府食品安全委員会事務局 一色賢司
- 2. 食品安全のためのGAP  
農林水産省 消費・安全局 農産安全管理課 生産安全班 佐藤京子
- 3. 食鳥肉のカンピロバクターおよびサルモネラ汚染と対策  
北里大学 獣医畜産学部 中村政幸
- 4. 「食物アレルギーと食品表示制度」

順天堂大学医学部公衆衛生学教室 丸井英二

5. 食の安全性確保とISO22000

(財) 日本適合性認定協会 (JAB) 井須雄一郎

**第7回 農薬・動物用医薬品等のポジティブリスト制の現状と課題**

平成19年2月23日 東京大学弥生講堂 参加者 257名

1. 農業現場で始まったリスク管理 科学ライター 松永和紀
2. 水産養殖現場における農薬類のリスク管理 東京海洋大学大学院 舞田正志
3. ポジティブリスト制に対する生協の考え方, 取り組み状況  
東海コープ事業連合 斎藤 勲
4. ポジティブリスト制に対する東京都の取り組み状況 東京都福祉保健局 中村憲久
5. ポジティブリスト制導入後の輸入食品の監視状況
  - 1) 残留農薬分析を中心として 神戸検疫所 平原嘉親
  - 2) 残留動物用医薬品分析を中心として 横浜検疫所 宮田昌弘

**第8回 食の安全にかかわる検証と信頼**

平成20年2月8日 東京大学弥生講堂 参加者 210名

1. メディア報道における取材者と科学者の責任 千葉科学大学 長村 洋一
2. サプリメントの品質とGMPの国際動向 日本健康食品規格協会 大濱 宏文
3. 食品中の農薬等に関する試験法評価ガイドライン  
国立医薬品食品衛生研究所 松田 りえ子
4. 微生物試験における精度管理 (財) 食品薬品安全センター 鈴木 達也
5. 食品安全委員会の最近の動き 内閣府 食品安全委員会 廣瀬 雅雄

**第9回 食品偽装と食品表示**

平成20年6月13日

野口英世記念会館 参加者 154名

1. 最近の食品偽装表示を巡る背景とその問題点  
宮城大学 食産業学部 池戸重信
2. 食品偽装と食品鑑別  
(独) 農林水産消費安全技術センター 表示監視部 植木 隆
3. 量販店から見た食品表示に関する法律とそのポイント  
(株) 消費経済研究所 衛生管理コンサル部 鈴木ちはる・福地祐治
4. 流通から見た食品表示違反の実態  
(株) 日本アクセス 商品本部食品安全管理部 藤平幸男

**第10回 「冷凍ギョウザ事件にみる食の安全」**

平成20年10月3日

野口英世記念会館 参加者 226名

1. 輸入食品の安全性確保について

厚生労働省 監視安全課輸入食品安全対策室 内海 宏之

2. 食品報道におけるメディアの功罪

日経 BP 社 日経レストラン編集部 中野 栄子

3. 食品メーカーにおける食の安全・安心への取り組み（～お客様視点に基づいて～）

サントリー（株）品質保証本部 富岡 伸一

4. 食品衛生に対する検査機関としての取り組み

(財)日本冷凍食品検査協会 戸田 聡

5. 中毒事件における農薬鑑定

警察庁科学警察研究所法科学第三部 大津留 修

**第11回 テーマ：「食の安全を巡る新しい動き」**

H21年2月6日 東京大学弥生講堂 参加者 275名

- |                            |               |        |
|----------------------------|---------------|--------|
| 1. ノロウイルスを巡る新しい動き          | 東京都健康安全研究センター | 林志直    |
| 2. カビ毒を巡る新しい動き             | 国立医薬品食品衛生研究所  | 小西 良子  |
| 3. 食品照射を巡る新しい動き            | 食品総合研究所       | 等々力 節子 |
| 4. 異物・異臭を巡る新しい動き           | 日本食品分析センター    | 小木曾 基樹 |
| 5. 加工食品検査を巡る新しい動き          | 国立医薬品食品衛生研究所  | 根本 了   |
| 6. ISO/IEC17025 制度の現状と最新情報 | 日本適合性認定協会     | 松本 年雄  |

**第12回：食物アレルギーを巡る最近の動向**

H22年1月29日 野口英世記念会館 参加者 209名

- |                           |               |       |
|---------------------------|---------------|-------|
| 1) 食物アレルギーの実態             | 国立病院機構相模原病院   | 海老澤元宏 |
| 2) 食品のアレルギー表示             | 消費者庁食品表示課     | 江島裕一郎 |
| 3) アレルギー表示の検査法            | 国立医薬品食品衛生研究所  | 安達玲子  |
| 4) えび・かにの注意喚起表示           | 水産食品衛生協議会     | 前田裕之  |
| 5) 食物アレルゲンの解析と低アレルゲン化への応用 | 神奈川県科学技術アカデミー | 板垣康治  |
| 6) 腸内環境の変化と食物アレルギー        | 千葉大学大学院医学研究院  | 下条直樹  |

**第13回：生食と安全性**

H22年1月29日 野口英世記念会館 参加者 182名

- |                             |          |       |
|-----------------------------|----------|-------|
| 1)急増している O157 食中毒の現状        | 国立感染症研究所 | 渡邊 治雄 |
| 2)硫化水素非産生株による豚と人のサルモネラ感染症   | 東京家政大学   | 森田 幸雄 |
| 3)なぜ多い、鶏肉やレバーによるカンピロバクター食中毒 | 埼玉県衛生研究所 | 小野 一晃 |
| 4)野生獣肉等の生食による E 型肝炎ウイルスの危険性 |          |       |

東京都健康安全研究センター 新開 敬行

5) 鮮魚介類で多発している原因不明の食中毒 東京海洋大学 長島 裕二

#### 第14回：トランス脂肪酸の情報開示に向けて

(H23年7月8日) 東京証券会館参加者 133名

- 1) トランス脂肪酸を取り巻く状況 農研機構 食品総合研究所 都築 和香子
- 2) トランス脂肪酸の分析法 日本食品分析センター 五十嵐 友二
- 3) トランス脂肪酸の摂取量とリスク回避に向けて 女子栄養大学 川端 輝江
- 4) トランス脂肪酸を含む油脂の摂取と健康影響について  
国立医薬品食品衛生研究所 畝山 智香子

#### 第15回：食品の機能性の現状とその課題

(H25年2月8日) 東京証券会館参加者 77名

1. 「食品の機能性・安全性研究の現状」 東京大学大学院 清水 誠
2. 「健康食品の安全性管理などの状況」 公益財団法人日本健康・栄養食品協会 加藤 博
3. 「機能表示における国際的な動向」 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構  
浜野 弘昭
4. 「食品の機能性・安全性に係わる課題」 消費者庁 宗林 さおり

#### 第16回：食品の安全性確保における国際統合化に向けて

(H25年9月27日) 東京証券会館参加者 133名

1. 「コーデックス規格等の動向」 厚生労働省 鷺見 学
2. 「アルミニウムの摂取量」 国立医薬品食品衛生研究所 佐藤 恭子
3. 「登録検査機関における国際整合性の取り組み」  
一般財団法人日本食品分析センター 杉本 敏明
4. 「企業における国際整合性の取り組み」  
サントリービジネスエキスパート(株) 細野 秀和

#### 第17回：フードディフェンスの取り組みと食品テロ後の対応について

(H26年9月1日) 食品衛生センター143名

1. 「食品防御（フードディフェンス）その現状と今求められている対策」  
奈良県立医科大学 今村 知明
2. 「農薬の毒性および曝露の評価」 国立医薬品食品衛生研究所 西川 秋佳
3. 「食品中・生体試料中の毒物分析」 警察庁科学警察研究所 太田 彦人
4. 「松本サリン事件をふりかえる」 元長野県環境保全研究所 月岡 忠

**第18回 : 食文化を考える～生食と食中毒**

(H27年10月1日) 食品衛生センター97名

1. 「食肉の生食規制～牛から豚へ」 国立医薬品食品衛生研究所 五十君 静信
2. 「過去に学ぶ食文化の誤認」 国立感染症研究所 杉山 広
3. 「事例から見る生食による食中毒」 東京都健康安全研究センター 小西 典子
4. 「食育と食品衛生」 実践女子大学 白尾 美佳

**第19回 : 食品の安全に関する分析の重要ポイント**

(H28年9月9日) 幕張メッセ国際会議場 85名

1. 「残留農薬分析法のポイント (公示法とスクリーニング法)」  
明治薬科大学 永山敏廣
2. 動物用医薬品分析法のポイント (公示法とスクリーニング法)  
大妻女子大学 堀江正一
3. マイコトキシンの一斉分析  
横浜薬科大学 望月直樹
4. 抗原抗体反応を利用した新たな分析手法 (株)堀場製作所 三宅司郎

**第20回: 食の常識を科学する～東京オリンピックパラリンピックに向けた食品リスクとグローバル化**

(H30年2月27日) 東京家政大学三木ホール 96名

1. 常識としての食品リスク  
一色賢司((一財)日本食品分析センター)
2. 腸管出血性大腸菌 0157 などの多発する食中毒の現況  
朝倉 宏 (国立医薬品食品衛生研究所)
3. 常識としての HACCP～それを支える科学～  
荒木恵美子 (東海大学)
4. 食品用容器包装規制における日本と海外の考え方の違い  
野田晴美 ((公社)日本食品衛生協会)

**第21回: フードセキュリティ ～災害時の食糧供給と食品衛生**

(H31年2月26日) 東京家政大学三木ホール 73名

1. 災害時の食糧確保と栄養学的課題  
西牟田 守(東洋大学)
2. 被災地での経験－被災状況、食生活など－  
上田康人(神戸市)
3. 食品衛生監視員の被災地派遣～避難所等の食中毒予防～  
平 公崇(東京都)
4. 災害時の食物アレルギー患者支援と課題

赤城智美(NPO 法人アトピっ子地球の子ネットワーク)

5. 災害支援栄養士(JDA-DAT)による栄養支援とみえてきた食・衛生問題  
笠岡(坪山)宜代(医薬基盤・健康・栄養研究所)

## 第22回：食品衛生の新時代 ～国際化に向けて

(令和2年2月13日) 牛込笹筒区民ホール 92名

1. 改正食品衛生法に基づく HACCP に沿った衛生管理の施行に向けて  
福島和子(厚生労働省)
2. 器具・容器包装におけるポジティブリスト制度の最新情報  
六鹿元雄(国立医薬品食品衛生研究所)
3. ゲノム編集食品とその安全性確保  
近藤一成(国立医薬品食品衛生研究所)
4. ISO/IEC17025:2017 のコンセプトを考える  
森 曜子(公益社団法人 日本食品衛生協会)

## 第23回：新型コロナウイルスと食品安全～世界の動向、東京の展望

(公社)日本食品衛生学会創立60周年記念

(令和3年2月25日) (Zoom オンライン配信 200名)

1. COVID-19 に対する ICMSF の見解  
春日文字(国立環境研究所)
2. 東京都における COVID-19 の現状と検査  
吉村和久(東京都健康安全研究センター)

## 第24回：食品ロス削減(SDGs)を食品衛生の立場から考える

(令和4年3月10日) Zoom オンライン配信 49名

1. 食品ロス問題の本質  
堀部敦子(消費者庁)
2. 食品ロス削減に関する話題と食品安全への配慮  
前田昌宏(日本生活協同組合)
3. 生協における食品廃棄物・食品ロス削減の取り組み  
近藤一成(国立医薬品食品衛生研究所)
4. 容器包装の技術革新による生鮮野菜のおいしさ長持ち  
松岡 滋(三菱ケミカル(株))